

# 私たちの町の文化財

## 速報！上代遺跡

### ■第9話 人間万事塞翁が馬

上代町遺跡群からは土器・石器・木の道具だけでなく、動物の骨も多く見つかっています。獣骨は骨片になってしまっているものが大部分を占めます。なんの動物なのか、どこの部位かすら分からないものも多く、たいへん残念に思っていました。しかし、そんな中で一頭分ちかく、比較的良好な状態で骨が残っている馬を発見しました！！これは古墳時代後期（約1500～1400年前）の溝から出土しました。

馬はもともとわが国にはいない動物です。3世紀末に書かれた中国の歴史書である『魏志倭人伝』では、「日本には牛・馬・虎・豹などはいない」と記述してあります。実際に縄文時代や弥生時代の馬の骨はまだ見つかっていません。古墳時代になって大陸から様々な文化が入ってくる中で馬も渡来したと言われています。

当時、馬はとても珍しいものだったと考えられます。人々は馬をたいへん貴重なものとして扱い、きらびやかな轡（くつわ）や鐙（あぶみ）など馬専用の装飾品を作り、馬を飾り立てました。

今回、上代町遺跡群から見つかった馬に装飾品はともなっていないません。しかし出土の状況から当時の人々が死んだ馬を溝まで運んできて、丁寧に置いた様子が窺えます。熊本市文化振興課 入江由真氏

先月号の桃もだけど、牛や馬って、中国大陸から渡ってきたのか、木造の小さな船に乗せてくるのも大変だったかも…

